

別記様式

		担当課	生涯学習課			
会 議 の 名 称		第1回 鴻巣市社会教育委員会議				
開 催 日		令和8年6月30日（火）				
開 催 時 間		午前10時00分 開会 ・ 午前11時30分 閉会				
開 催 場 所		鴻巣市役所本庁舎303会議室				
議長(委員長・会長)氏 名		委員長 清水 良江				
出席者(委員)氏名 (出席者数)		清水良江 池澤貴勇 坂本愛子 瀬山良一 森田文江 江原浩昭 藤村郁夫 渡邊恵子 間中由利子 竹内茂雄 鈴木定昭 峯岸幸子 森田博子 小川はるみ (14名)				
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)						
事務局職員職氏名		教育長 生涯学習課課長 生涯学習課主幹 生涯学習課主事		齊藤隆志 清水健紀 鈴木優子 中田彩月		
傍聴の可否 (傍聴者数)		可 (0名)				
会 議 の 内 容	1 委嘱状の交付 2 開会 3 あいさつ 4 議題 (1) 正副委員長の選任について (2) 会議の公開について (3) 傍聴規程について (4) 令和7年度社会教育関係団体への補助金交付状況について (5) 令和8年度社会教育・生涯学習に係る事業計画について (6) 令和8年度社会教育関係団体への補助金交付について (7) 令和8年度鴻巣市社会教育委員の活動予定について (8) 鴻巣市社会教育委員から選出する各種協議会委員について 5 その他 6 閉会					
	(決定事項など) (1) 委員長に清水委員、副委員長に渡邊委員を選出した。 (2) 会議の公開について、説明を行い、承認された。 (3) 傍聴規程について、説明を行い、承認された。 (4) 令和7年度社会教育関係団体への補助金交付状況について説明を行った。 (5) 令和8年度社会教育・生涯学習に係る事業計画について説明を行い、次のような質問、意見があった。					

	・ 昨年の生涯学習課で行っている事業の実績、充足率はどうか。 → 市民大学講座は、全講座受講者の定員120名のところ、それを上回る124名応募があり、特別公開講座のみの受講者は約20名と定員を下回った。 → これらの講座で、あまりにも申込みが少ないものはない。アンケートを実施し、多くの受講者に好評。 ・ 生涯学習ガイド、人材バンク、鴻巣市が提供した生涯学習の活用法、実績はどうか。 → 人材バンクでは多くの講師の方が登録しており、幅広い講座を提供できる。費用等はホームページに掲載しているが、現状活用率は高くなく、広まっていない状態。ホームページ、広報、SNSは関心がないと閲覧することはなく、知る機会がない。問い合わせは主に公民館等にあるため、件数や利用状況等については不明。 ・ 媒体もいいが、公民館で結構見ている人がいる。アナログの方が実は宣伝ができる。 ・ ポスターを見た人から地域の人に広まる。 ・ 委員（が所属する団体等）を通じて配るのはどうか。 ・ 自治会に依頼してはどうか。 → ご提案いただいた周知方法について、今後検討する。 ・ 他自治体では小学校等で、地元の講義をする事業を行うところもある。鴻巣市も同様の事業を行うのはどうか。 → 今後検討する。 ・ 1年間の出前講座の利用数はどのくらいか。また何かに掲載しているか。今後の活用予定案はあるか。 → 昨年の実績は2回、1回はコスモス大学の歴史サークルで行っている。1年間に1回広報に掲載があり、秘書課のホームページからいつでも電子申請できるようになっている。最近発掘された埴輪のことなど、小学校で講座を行うことを検討中。 ・ 市民文化祭、芸能発表会の同日開催とのことだが、作品展は例年通り（の内容で）行うのか。 → 例年通りの予定。 (6) 令和8年度社会教育関係団体への補助金交付について説明を行った。 ・ 生出塚の遺跡等現場を見ながら会議を行う、もしくは同日開催はどうか。 → 場所によるが民有地のため難しい。 ・ 全員でWeb研修会と参加でき、質問等話し合えるため、会議を同日開催するのはどうか。 (7) 令和7年度鴻巣市社会教育委員の活動予定について説明を行った。 (8) 鴻巣市社会教育委員から選出する各種協議会委員について、次のとおり報告を行った。 その他において、当日配布資料の説明を行った。
配布資料	次第 ・ 第1回社会教育委員会会議資料 ・ 関係各課資料（こども応援課・スポーツ課・公民館） ・ 令和8年度前期分鴻巣市生涯学習ガイド ・ 令和7年度鴻巣市が提供した生涯学習実績報告

注 会議の内容の欄は、主な意見や質疑内容を交えて概要を記入し、記入事項が多い場合は、別紙に記入するものとする。